

# 初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン(Ver. 2.0)【概要】

教職員や教育委員会等の学校教育関係者を主たる読み手として、学校現場における生成AIの適切な利活用を実現するための参考資料となるよう、生成AIの概要や基本的な考え方、場面や主体に応じて押さえておくべきポイントをまとめたもの。



## 1. 生成AIについて

### 生成AIの概要



- 生成AIとは、文章、画像、プログラム等を生成できるAIモデルにもとづくAIの総称
- 汎用的なサービスだけでなく、様々な提供形態・提供主体が出現し、教育分野にも導入
- 様々なリスクの存在が指摘される一方で、技術的な対策も進展

## 2. 基本的な考え方

### 人間中心の利活用



- 生成AIを有用な道具になり得るものと捉え、出力を参考の一つとして、リスクや懸念を踏まえた上で、最後は人間が判断し、責任を持つことが重要
- 学習指導要領に定める資質・能力の育成に寄与するか、教育活動の目的を達成する観点から効果的であるかを吟味した上で利活用
- 学びの専門職としての教師の役割が一層重要

### 情報活用能力の育成強化



- 生成AIの仕組みの理解、学びに生かしていく視点、近い将来生成AIを使いこなすための力を、各教科等の中において意識的に育していく姿勢は重要
- 生成AIが社会生活に組み込まれていくことを念頭に、情報モラルを含む情報活用能力の育成を一層充実させていくことが必要

### 参考資料編

- 各場面や主体に応じたチェック項目、生成AIパイロット校における先行取組事例、学校現場において活用可能な研修教材 等

## 3. 学校現場において押さえておくべきポイント

### 教職員が校務で利活用する場面



- 校務において利活用することで、校務の効率化や質の向上等、働き方改革につなげていくことが期待される
- 教職員自身が新たな技術に慣れ親しみ、利便性や懸念点を知っておくことは、児童生徒の学びをより高度化する観点からも重要
- 生成AIの仕組みや特徴を理解した上で、生成された内容の適切性を判断できる範囲内で積極的に利活用することは有用

### 児童生徒が学習活動で利活用する場面



- 発達の段階や情報活用能力の育成状況に留意しつつ、リスクや懸念に対策を講じた上で利活用を検討すべき。その際、学習指導要領に定める資質・能力の育成に寄与するか、教育活動の目的を達成する観点から効果的であるかを吟味することが必要
- 「生成AI自体を学ぶ場面」、「使い方を学ぶ場面」、「各教科等の学びにおいて積極的に用いる場面」を組み合わせたり往還したりながら、生成AIの仕組みへの理解や学びに生かす力を高める

### 教育委員会等が押さえておくべきポイント



- 教育委員会が主導して制度設計や方向性を示すことが重要
- 各学校の実態を十分に踏まえた柔軟な対応を講じることが必要であり、一律に禁止・義務付けるなどの硬直的な運用は望ましくない
- 先行事例や教材・ノウハウの周知・共有、研修の実施により、生成AIの適切な利活用を推進する環境を整備することが必要

### 共通して押さえておくべきポイント



- 安全性を考慮した適正利用
- 情報セキュリティの確保
- 個人情報・プライバシー著作権の保護
- 公平性の確保
- 透明性の確保、関係者への説明責任

# リーディングDXスクール事業とは？

- ・ GIGAスクール構想で整備された1人1台端末とクラウド環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを融合した授業改革を図る
- ・ 教員の授業や校務DXによって、働き方改革と教育の質向上を両立させる
- ・ 全国約200校を指定し、実践モデルの創出・事例展開を行う



「リーディングDXスクール」は、GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXを行い、全国に好事例を展開するための事業です。

全国の小中高等学校、約200校の取組等は、各学校のWebサイトからご覧いただくことができますので、

地域や校種を超えて様々な取組を参考にし、学校での端末の「普段使い」による教育活動の更なる推進にお役立てください。

また本サイトでは、本事業指定校以外の学校の先生方も参加できる学習会等のお知らせも随時行います。ぜひ積極的にご活用ください！



リーディング  
DXスクール事業に  
ついて



リーディング  
DXスクール一覧



生成AIパイロット校  
一覧 (R6年度まで)



公開授業・  
公開学習会予定



イベント情報や各地の実践  
事例情報をお届けします！

以降表示しない



取組実践



GIGAスクールに  
関する通知



特集ページ



PAGE  
TOP

リーディングDXスクール [https://leadingd\\_xschoo.l.mext.go.jp/](https://leadingd_xschoo.l.mext.go.jp/)

ソース



+ ソースを追加

ウェブで新しいソースを検索

ウェブ Fast Research

すべてのソースを選択

D101220700016\_A1.pdf

D101220700016\_B2.pdf

D101220700016\_B3.pdf

D101220700016\_B4.pdf

D106220450031\_A1.pdf

D106220450031\_A2.pdf

D106220450031\_A3.pdf

D106220450031\_B1.pdf

D112210000690\_A1.pdf

D115222600035\_A1.pdf

D115222600035\_B2.pdf

D127210001585\_A1.pdf

チャット



# リーディングDX校での生成AIの活用事例

23 ソース

提供された複数の資料は、日本のリーディングDXスクール事業における生成AIパイロット校の具体的な活用事例をまとめたものです。各高等学校では、校務の効率化として、保護者向け文書の作成、プログラミングによる業務自動化、アンケート分析などにAIを活用し、教員の負担を大幅に軽減しています。教育現場では、美術や国語、物理といった多様な教科でAIを「対話相手」や「副次的視点」として導入し、生徒の思考深化や表現力の向上を図っています。同時に、生徒がAIの特性やハルシネーションのリスクを理解するための情報モラル教育や、適切な指示を与えるためのプロンプトエンジニアリングの指導も重視されています。全体として、AIを単なるツールとしてだけでなく、自律的な学びを支援し、教育環境を最適化するための重要なリソースとして位置づけています。

メモに保存



教員の校務効率化における生成AIの具体的な活用事例を教えて

美術や物理などの授業で生徒が生成AIをどう活用しているか知りたい

学校で生成AIを導入する際のガイドラインや環境整備の進め方は？

入力を開始します...

23 個のソース



NotebookLM は不正確な場合があります。回答は再確認してください。

Studio

音声解説

動画解説

マインドマップ

レポート

フラッシュカード

クイズ

インフォグラフィック

スライド資料

Data Table

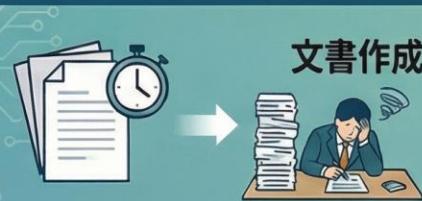
学校における生成AI活用ガイド  
23 個のソース · 3 分前【生成AI最前線】日本の高校教育...  
23 個のソース · 158 日前生成AI：校長先生のための実践導...  
23 個のソース · 158 日前生成AIが高校を変える！全国「AI...  
23 個のソース · 158 日前教室のAI：日本のパイロット校  
23 個のソース · 158 日前高校に生成AIを導入する方法  
23 個のソース · 158 日前

メモを追加

# 学校における生成AI活用ガイド：校務効率化と教育活動の高度化

## 校務での利用（業務の効率化・高度化）

### 文書作成・校正時間を最大70%削減



保護者宛の通知文作成や校正を生成AIが補助することで、従来の3分の1以下の時間で業務を完了し、事務処理の効率化を実現しています。

### GASによる自動処理プログラムの作成



教諭自らが生成AIと対話してプログラムを開発しています。

時間割の自動カレンダー登録

修学旅行の出入り管理システム

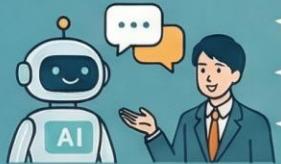
学習記録の未入力者への自動管仮メール



### アンケート分析とデータ活用の迅速化

保護者アンケートの膨大な自由記述を、学年別の傾向分析や具体的な対策案の議定に活用し、学校運営の改善サイクルを進めています。

### 専門家・アドバイザーとしての活用



授業構想の分析

ディベートのシナリオ作成

部活動の予算内での備品見積もり

### 進路指導での生成AI活用の実態 (山形県立高田光陵高校の事例)

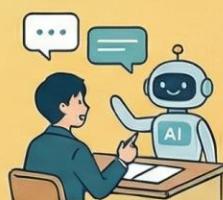
活用内容	生徒の利用率 (n=202)	教員の利用率 (n=36)
下書きの生成	15%	8%
相談・補助	24%	24%
文書の添削	23%	42%
活用していない	57%	58%

## 教育での利用（学びの深化・リテラシー育成）



### 生成AIリテラシー教育（事前学習）

活用前に「仕組み、メリット・デメリット、ファクトチェックの方法」を学ぶ講座を実施し、生徒が主体的にツールを選択・活用できる土壌を整えています。



### 「多様な他者」としての対話と自己修正

生成AIからの客観的なフィードバックを元に、生徒が自らの考えを深め、改善するプロセスを取り入れています。

美術の作品講評

物理の誤概念修正

国語の創作評価

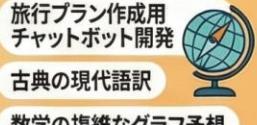
### 言語化能力と議論に向かう姿勢の向上

生成AIとの対話を繰り返すことで、自分の考えをスムーズに言語化できるようになり、他の生徒との協働学習においても構築的に講論へ参加する変化が見られました。



### 教科の枠を超えた探究・実践

総合的な探究の時間での旅行プラン作成用チャットボット開発や、古典の現代語訳、数学の複雑なグラフ予想など、多様な学習場面で活用されています。



旅行プラン作成用チャットボット開発

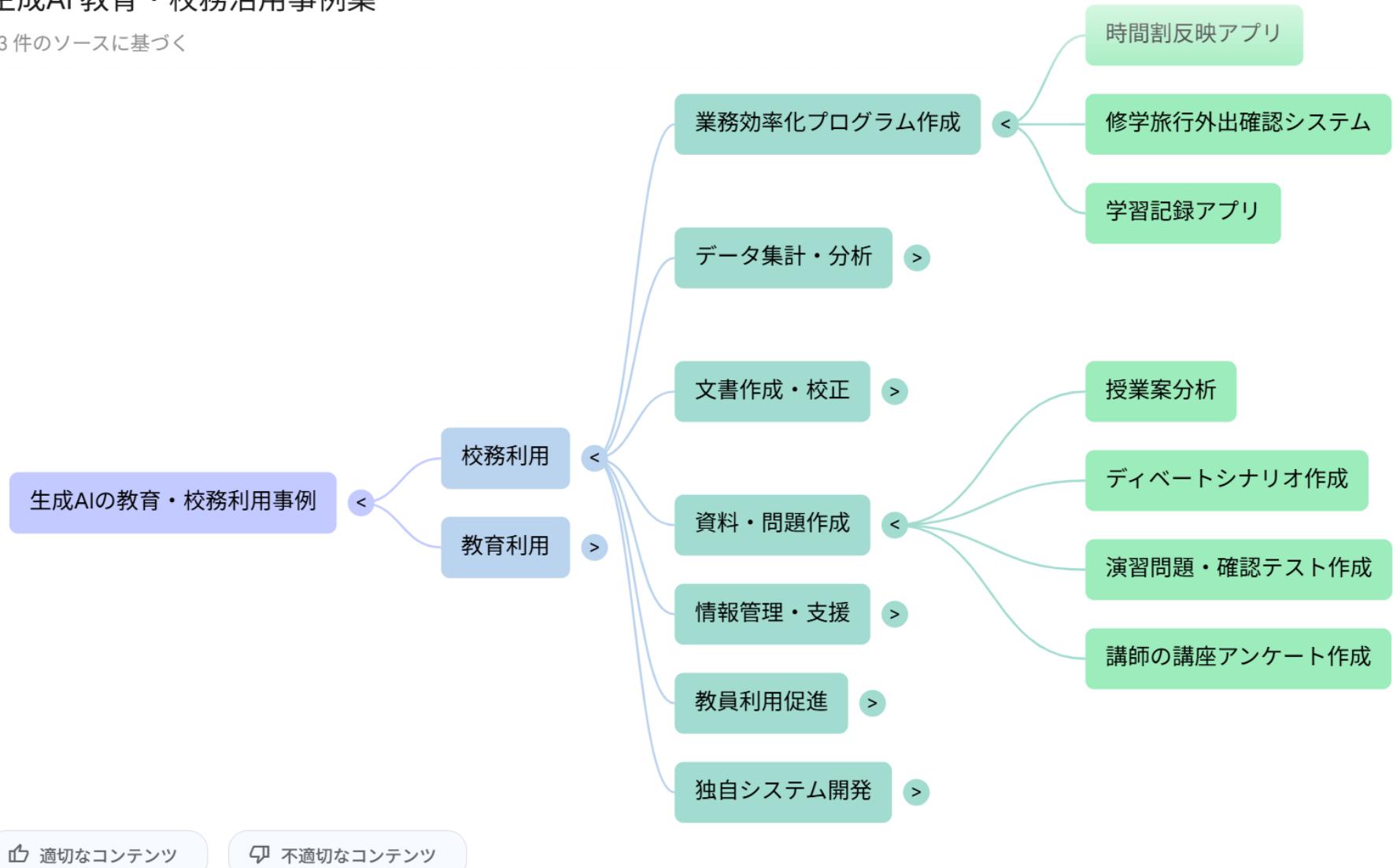
古典の現代語訳

数学の複雑なグラフ予想

リーディングDXスクール<https://leadingdxschool.mext.go.jp/>において公開されている報告書をもとに、NotebooLMで生成

# 生成AI 教育・校務活用事例集

23 件のソースに基づく



引用：Google社 NotebookLMによる生成

# 生成AI教育サービスの実証研究

※みんなのコード：【調査研究】小中高における生成AIの継続利用と情報活用能力の関係  
<https://code.or.jp/news/20260127/>

- ・ 生成AI教育サービス「プログララボ みんなで生成AIコース」の利用ログを用いた調査研究
- ・ 児童生徒 17,418名・55万件超の生成AI利用ログを分析
- ・ 教員 97名へのアンケート調査 とクロス分析

※安藤祐介, 佐藤和紀, 井手絢絵(2025)子どものプロンプトと教師アンケートに基づく学校での生成AI利用の実態調査, 日本教育工学会研究報告集/2025 卷(2025) 3号, 104-111

# 主な研究結果①

- ・ 継続利用が生成AIを「学びのパートナー」に変える  
短期利用（体験・単発）  
　翻訳・要約・単語検索・正解や機能確認を中心  
長期利用（28日以上）  
　作文への批評依頼意見交換  
　対話的なやりとり感謝など人間的な表現
- ・ ⇒ 継続的な利用により生成AIが思考を深める対話的  
存在へ変容
- ・ 単発導入よりもカリキュラム全体で位置づける

# 主な研究結果②

- ・ 情報活用能力との強い正の相関
  - ・ 長く使うだけでは十分ではない
  - ・ 情報活用能力が高い学級ほど生成AIを「学びのパートナー」として活用
  - ・ 示唆  
操作スキル指導だけでは不十分探究的学びを通じた情報活用能力の育成が不可欠
- 探究学習・対話的学習との親和性が高い

# 主な研究結果②

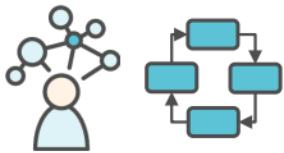
- ・ 有害コンテンツの検出率は極めて低い  
有害検出率：0.37% 多くは誤記・文脈による誤検知  
自傷行為など深刻な内容：0.0003%
- ・ ⇒ 教員の見守りと指導があればリスクは定量的に管理可能

## 1. 学習指導要領改訂の大きな方向性とは？

### 次期学習指導要領に向けた基本的な考え方 ～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～

1

#### 「主体的・対話的で深い学び」の実装 (Excellence)



「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通じた資質・能力の育成について、一層の具現化・深化を図る

2

#### 多様性の包摂 (Equity)



子供たちの多様性を包摂することで、一人一人の意欲が高まり、可能性が開花し、個性が輝く教育を実現する

3

#### 実現可能性の確保 (Feasibility)



持続可能な在り方を追求し、教師と子供の双方に「余白」を創出することで豊かな学びに繋げる

学びをデザインする高度専門職としての教師

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備

総合的な勤務環境整備

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに



生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む



## 1.学習指導要領改訂の大きな方向性とは？

### 次期学習指導要領に向けた基本的な考え方



自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成



「好き」を育み、「得意」を伸ばす  
(興味・関心)

当事者意識を持って、自分の意見を  
形成し、対話と合意ができる

#### 【各教科等での検討イメージ】

好き・得意をベースとした主体的な進路選択の促進

高  
中  
小  
幼

課題設定の充実  
グループ探究  
個人探究  
総合



生きて働く「確かな知識」の習得  
興味・関心が広がる  
教材・学習方法の選択を促進  
自分の意見を表現する活動の充実  
探究的な要素を持つ学習活動の充実  
家庭学習の内容を自律的に決められるような段階的指導  
(家庭学習はじめ学習習慣の確立を含む)

各教科等

児童生徒主体のルール形成や  
学校生活改善、行事の創造等  
の明確化  
(みんなが学びやすいルールや環境  
の構築を含む)

納得解を形成しようとするこ  
との重要性の明文化  
(安易な多数決の回避や少数意見の  
吟味)

特別活動

考え、議論する  
道徳の徹底  
(主体的な判断の重  
要性、知・徳・体の  
調和のとれた発達に  
向けた、道徳的価値  
の対立を乗り越える  
必要性や道徳的実践  
の強調)

道徳

言葉を用いて思考を深めていく指導

他者と関わり協同する力の育成

多様な子供を誰一人取り残さない  
視点としての個別最適な学び  
と協働的な学びの一体的充実

科学的知見も生かした  
効果的な指導計画・授業方法  
児童生徒の学習方略の指導

障害や認知特性等、多様な  
実態を踏まえた調整  
(教科等、家庭学習含む)

全ての活動の基盤として  
の心理的安全性の確保

学びをデザインする高度専門職としての教師

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

総合的な勤務環境整備

\*本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今般の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

## 2. 「深い学び」を実現するための分かりやすい学習指導要領に向けた工夫とは？

### 高次の資質・能力をもとにした一層の構造化・表形式化・デジタル化



子供たちに育む資質・能力が分かりやすく、日々の授業づくりの際に教師一人一人が使いやすい学習指導要領とするため、「構造化・表形式化・デジタル化」を一体的に進め、「深い学び」を授業で具現化しやすくする。

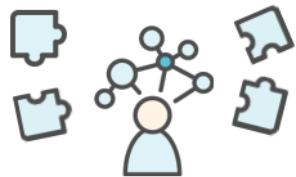
#### ＼生きて働く／ 知識及び技能

他の学習や生活の場面でも活用できる

##### 高次の資質・能力

###### 知識及び技能に関する統合的な理解

個別の知識や技能が相互に関連付けられて一般化され、統合的な理解となった姿



(例)関数を使えば未知の状況を予測できる

社会や生活で直面する未知の状況でも課題解決に繋げていけるよう「質」を高めることが重要

##### 資質・能力の「深まり」の可視化

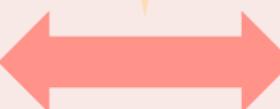
###### 個別の知識や技能

知識① 知識② 知識③ 知識④



(例)比例・反比例の理解 / 1次方程式の解き方 等

ある程度の知識・技能なしに思考・判断・表現することは難しいし、思考・判断・表現を伴う学習活動なしに知識の深い理解と技能の確かな定着は難しい



##### 資質・能力の「一體的育成」の可視化

#### ＼未知の状況にも対応できる／ 思考力、判断力、表現力等

知識・技能を活用しながら、未知の場面でも課題を解決できる

##### 高次の資質・能力

###### 思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮

複雑な課題の解決に向けて、個別の思考力、判断力、表現力等を組み合わせたり選んだりして総合的に働かせた姿



(例)現実の事象を数式でモデル化し、未知の状況を予測して、具体的な解決策を選択する

##### 資質・能力の「深まり」の可視化

###### 個別の思考力、判断力、表現力等



(例)二つの数量の変化・対応関係を見つけて式やグラフを用いて考察する 等

\*論点整理における「中核的な概念の深い理解」「複雑な課題の解決」について、総則・評価特別部会における議論を踏まえ、「知識及び技能に関する統合的な理解」「思考力、判断力、表現力等の総合的な理解」（総称して「高次の資質・能力」）に更新して記載

\*「高次の資質・能力」は、個別の資質・能力が深まることで至る、「統合的な理解」や「総合的な発揮」を指し示すものであり、個別の資質・能力との関係で重要性の軽重を意味するものではない。

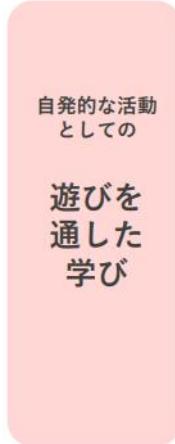
## 4.情報活用能力の抜本的向上を図る方策とは？

### 情報活用能力の抜本的向上と質の高い探究的な学びの実現



情報活用能力を各教科も含めた探究的な学びを支える基盤と位置づけ、小中高を通じた体系的・抜本的な教育内容の充実を行う。デジタルの負の側面にも対応しながら情報技術を自在に活用して課題解決ができる人材を育成する。

#### 幼児教育



#### 中学校



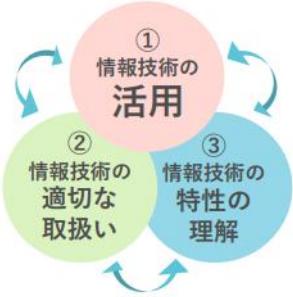
#### 高等学校



#### 各教科等

※育んだ情報活用能力を各教科での探究的な学びを支え、駆動させる基盤としても活用

#### 情報活用能力を構成する各要素



##### 小学校段階

体験的な活動を重視し、「①活用」を中心としたながら、「②適切な取扱い」、「③特性の理解」と相まって培う  
中学校段階以降

各要素の内容を深めつつ、より抽象的・科学的な理解を必要とする「③特性の理解」を一層重視

##### ①情報技術の活用

情報技術の基本的な操作及び情報技術を活用した情報の収集、整理・比較、発信・伝達等に関するこ

##### ②情報技術の適切な取扱い

情報技術を扱う際の留意事項に関するこ  
(情報モラル、権利と責任等)

##### ③情報技術の特性の理解

情報技術の特性の科学的な理解に関するこ  
(コンピュータの仕組み、データ活用等)

#### 中学校 情報・技術科（仮称）イメージ



リーディング DX スクール

<https://leadingdxschool.mext.go.jp/>

生成 AI 活用の最前線！“学び続ける力”を育成する次世代型授業とは 春日井市立高森台中学校 (YouTube)

<https://youtu.be/lE0EuYGolgs?si=BqhMbsifcP43h7Xg>

みんなのコード

【調査研究】小中高における生成 AI の継続利用と情報活用能力の関係 –

<https://code.or.jp/news/20260127/>

教育課程企画特別部会における論点整理について（報告）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/mext\\_00010.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/mext_00010.html)